

SHARING BEAUTY WITH ALL

美のすべてを、共に次世代へ



2020年に向けた持続的発展のコミットメント より良い環境、社会を目指して

ロレアルグループは創業以来、「社会の持続的発展」のため、さまざまな取り組みを推進してまいりました。世界最大の化粧品会社として、より良い環境や社会の持続的発展に向けた考えをビジネスモデルに取り込みながら今日に至っています。

「すべての人々に美をお届けする」というロレアルグループのグローバルミッションのもと、環境を保護する美、地域社会や社員一人ひとりを支援する美、さらには、多大なる信用を寄せてくださるお客様に持続可能で魅力的な製品をお届けすることにより、環境や社会の持続的発展のために最適な選択ができるなど、「美」は多様な力と価値を創出します。

日本ロレアルは、日本が抱える環境や社会的課題に向き合うべく、さらに一歩進んだ取り組みを推進しています。環境への負荷を低減する製品開発や製造工程、地域社会や社員のための支援プログラム、そして、社内のみならず社会において女性が活躍できるよう後押ししています。

長期的視野に立って推進しているさまざまな活動の実績が高く評価され、在日フランス商工会議所が主催する第6回「フレンチ ビジネス大賞」にて、最も優れた環境・社会活動を推進する企業に贈られる「ベストCSR賞 2017」を受賞しました。また、私自身、内閣府の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の一員として参加しています。

今後とも、責任ある企業市民としてより良い環境や社会を目指して、さまざまな取り組みを積極的に推し進めていきます。

代表取締役社長
ジェローム・ブリュア

Innovating SUSTAINABLY

イノベーションにおける持続的発展

2020年までに100%の製品がより
良い環境や社会のために革新的な
イノベーションを推進

Developing SUSTAINABLY

社員・サプライヤー・コミュニティーに おける持続的発展

2020年までにロレアルの全社員に福利厚生
やトレーニングを受ける機会を提供、すべての
サプライヤーがロレアル推奨の持続発展のため
のサプライヤープログラムに参加、10万人
以上の社会的弱者の自立支援を実現

Living SUSTAINABLY

暮らしにおける持続的発展

2020年までに環境に優しい製品の
情報を提供し、消費者が地球環境
の持続的発展のために最適な選択
を実現

Producing SUSTAINABLY

生産における持続的発展

2020年までに二酸化炭素排出量、
水消費量、廃棄物発生量など環境
への負荷を2005年比で60%削減

HISTORY

日本ロレアルの歩み

ロレアルは日本でのビジネスを1963年にスタートし、髪と肌のトータルビューティを提供する企業を目指して、次々とビジネスを展開してきました。日本はロレアルグループの戦略的な創造拠点として、重要な役割を担っています。アジアで初の研究拠点を開設したほか、アジアで唯一、高級ブランドを製造する工場を擁しています。



1963

株式会社小林コーサー（現 株式会社コーサー）と提携、サロン事業を開始

1976

総合スーパー（GMS）やドラッグストア向けのマスマーケット事業を開始

1978

百貨店向けの事業を開始

1983

アジア初の研究開発施設を東京に開設

1985

静岡県御殿場市にある日本の工場コスメロールは、ヘレナ ルピンスタインの工場をロレアル傘下に伴い、現在名に改称。
アジアで唯一、アジア向けのラグジュアリーブランドのスキンケア、メイクアップ製品を製造

1996

日本ロレアル株式会社を設立

日本ロレアル研究開発センター開設

2006

新宿パークタワーに本社移転を完了

2013

日本でのビジネス開始から50周年

日本ロレアル リサーチ&イノベーションセンター創設30周年
アジアで唯一、基礎、応用、開発、評価のすべての研究機能を備えた施設となる